

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和4年度分）

施設名	茨城県立里美野外活動センター
施設所管課	教育庁学校教育部保健体育課
指定管理者	一般社団法人茨城県キャンプ協会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで

1 施設の概要

施設所在地	常陸太田市里川町863-1
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積：282,258㎡ 建物面積：1,007.96㎡ 構造：鉄筋コンクリート造 地上2階 宿泊室5部屋、講義室、多目的室、会議室、厨房、事務室、宿直室、浴室 キャンプ場 屋外調理場6ヶ所、屋外トイレ3ヶ所、シャワー室2ヶ所、倉庫2ヶ所、車庫
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> センターの施設、付属設備及び備品（以下「施設等」という。）の維持管理に関する業務 施設等の利用の承認等及び承認の取消し等に関する業務 施設等の利用料等の収受等に関する業務 その他上記に附帯する業務

2 職員の状況

常勤職員： 3人	非常勤職員： 1人	合計： 4人
----------	-----------	--------

3 収支状況

令和4年度 (単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料	22,687,000	人件費（給与等）	13,157,478
利用料収入	407,630	光熱水費	1,344,725
自主事業収入等	310,000	租税公課等	
その他（利息等）	54,000	自主事業費	749,838
		その他（事務費・修繕費等）	7,849,386
収入合計	23,458,630	支出合計	23,101,427

4 利用状況

	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度実績
①年間利用日数(日)	171	167	167
②年間利用者数(人)	6,626	4,348	4,091
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	407,630	297,630	300,530

5 サービス向上に向けた取組み

- ・第三キャンプ場にウッドデッキゾーンリニューアルオープンさせ、グランピングゾーンを提供している。
- ・利用者の利便性の向上のため、カフェ売店事業を行っている。
- ・薪については、サービスの一環として利用者へ提供している。

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

○実施方法

- ・開所期間：ポストに投函（回答者 55 人）
- ・令和 4 年 4 月～令和 4 年 1 1 月に利用者に対してアンケート実施

○調査結果

①開館日・開館時間

大いに満足 69.1%、満足 25.5%、ふつう 5.4%、不満 0%、大いに不満 0%

② 職員・スタッフの対応

大いに満足 81.8%、満足 16.4%、ふつう 1.8%、不満 0%、大いに不満 0%

③ 施設の清潔さ

大いに満足 56.4%、満足 32.7%、ふつう 9.1%、不満 1.8%、大いに不満 0%

④ 利用のしやすさ

大いに満足 63.6%、満足 21.8%、ふつう 14.6%、不満 0%、大いに不満 0%

⑤ 施設全体

大いに満足 63.6%、満足 25.5%、ふつう 9.1%、不満 1.8%、大いに不満 0%

⑥ 周辺環境

大いに満足 70.9%、満足 16.4%、ふつう 7.3%、不満 5.4%、大いに不満 0%

○利用者からの意見等

【良い点】

- ・料金が安いこと。トイレがきれい。シャワーが無料。
- ・職員の皆さんが親切に対応してくれた。
- ・自然の中でキャンプができる大変良いキャンプ場です。

【悪い点】

- ・国道 3 4 9 号からの県道の道幅が狭い。

【要望】

- ・冬季の利用ができればと思います。
- ・ウォシュレットトイレの水圧が低いところがある。

○対応状況

- ・設備の老朽化への対応は、県へ予算措置を依頼すると同時に、日頃から施設の安全管理の徹底に努めている。
- ・利用者の声を聞き、サービスの改善を図っている。

7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	保守点検業者に業務を委託し、適切に管理している。	A	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	適切に行っている。利用者に気持ち良く利用してもらうように更に留意したい。	A	B
	破損箇所の修繕は適切か。	協定書に従い、指定管理者で対応すべきものは、適切に修繕している。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	条例等を遵守し、適切な運営を行っている。	A	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	平等・公正な運営については、細心の注意を払って実行している。	B	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか、	ウッドデッキゾーン設置やカフェ事業により、施設利用の拡大やサービスの向上を図っている。	A	A
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	アンケート等により、要望を把握し利便性の向上を図っている。	B	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。	適切に人員配置を行っている。	B	B
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	利用者の要望・苦情等については、できるところから改善した。	B	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	緊急時に備えた連絡網により、迅速・適切に行っている。	B	B
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	報道機関を利用して利用促進のPRを行った。	B	A
利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	コロナ禍であったが利用促進に努め、前年度を上回る利用者数となった。	B	B
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	繁忙期には休日も開所して利用客を受け入れている。	B	B
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	収支計画に基づき適正に執行した。	B	A
	経費削減に向けた取組みがされているか。	光熱費等の節約に努めた。	B	B
<p>【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR活動に努めた結果、新聞等で取り上げられることも増え、前年度を上回る利用者数となった。 ・キャンプに係る有資格者を職員として配置し、利用者へのきめ細かい対応がとられている。 ・総合的に適正であると評価する。 				

- ※ ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
 ・総合評価欄については、所管課が記入する。
 ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの